

介護、福祉、相続などみなさんの疑問にお答えするコーナーです♪



朝晩が冷えるようになり、「秘湯巡りをしてみたいなあ」とネットサーフィンに夢中の企画室黒田です。

最近、生前整理や遺品整理という言葉とともに「デジタル遺品」という言葉を耳にするようになりました。デジタル遺品とは、パソコン、スマートフォンなどデジタル機器に残された情報（遺品）を意味します。

Q. 急増する「デジタル遺品」、どう対応すべき？

インターネットの普及により、様々な情報をパソコンやスマートフォンで管理する人が増えている一方、本人以外が操作することが難しく、



ID やパスワードが分からなければ資産を確認することができないという問題もあります。

現在は Twitter や Facebook、Instagram など、数々のソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) があります。家族には見られたくない情報を保存している人もいるでしょう。

人はいつ何が起こるかわかりませんから、いざというときに

家族や周囲の方が困らないようにしたいものです。

あらかじめ家族に自分が亡くなった後の SNS の扱いについて希望を伝え、

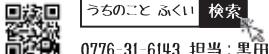
ID やパスワードをエンディングノートに記載したり、

通帳などと一緒に保管しておくことをオススメします。

本当に今更と相談と
うちのこと

うちのこと ふくい 検索

0776-31-6143 担当：黒田



みんなのらくがき帳

～編集部からの
自由コラムへ

みかん狩りで食べることより、収穫することに楽しさを感じた松山です。

先日、子どもたちが通う子ども園の運動会が開催されました。

長男は来年から小学生なので、子ども園では最後の運動会。

年長組ということもあり、難易度の高いダンスや競技に一生懸命取り組んでいた姿を見て、自然と涙が出てきました。

子どもの成長に負けず、自分もさらに成長しないと！と思いました。



発行 TASSAY 「誰に心を届ける会社。
株式会社タッセイ

2019年11月25日発刊 Vol.055



タッセイ通信

「建材」と「愛」をお届けするタッセイの「人柄」を見せる情報誌



三代目奮闘記



皆さま、こんにちは！家族内で風邪が流行しているタッセイ三代目社長の田中陽介です。街中でもタッセイでもマスクをしている人を多く見かけますし、充分に予防しなければと思います。

さて、11月上旬にとても興味深い取組みがいよいよスタートしました。

石川県小松市で地元の工務店6社が集まり、協力し合って1年限定の総合住宅展示場を運営するその名も「小松住宅活性化プロジェクト『家6!!!』(イエロク、と読みます)」です。

そのオープンセレモニーに、小松市長さん・地元銀行の支店長さん・町内会長さんに交じって、協力業者会を代表して僕も出席をさせて貰ってきました。



村田会長からは、ちょうどこの日が決勝戦だったラグビーW杯になぞらえ、「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」の精神で地元工務店が力を合わせ、地元協力業者の活性化、小松市民に役立つグループ、展示場を目指します！」という何とも頼もしいご挨拶。

そして秋晴れのもと、テープカットで華々しくオープンしました。



6棟のモデルハウスは各々の個性があふれ、土間のある暮らしや中二階の書斎に収納、工夫を凝らしたLDK空間にはこだわりの住設機器と家事動線、グレー基調のカラーリングなどなど

率直に素晴らしい暮らしのイメージが湧くような展示空間でした。

オープンから2日間で250組900名ほどのお客様が来場されたとのこと。

また、地元の新聞やテレビなど多くのメディアにも取りあげられたようです。

このように地域の工務店さんが『お互いは敵ではなく仲間である』という認識で協力しながら地元を盛り上げるチームは今の時代だからこそとても有益な取り組みだなあ、と。

建てるを応援する会社タッセイとしても、

そうした姿勢を大切にいきたいと強く感じました。

株式会社タッセイ
代表取締役社長

田中 陽介



かわべ かつしげ
名前：川邊 勝彌
所属：福井本社 ハウジング営業部
入社：13年目
趣味：ゴルフ



タ：タッセイ通信今月のゲストは、ゴルフの腕前タッセイイチ！川邊主任です♪

川：いやいや、それは言いすぎですけど…（笑）

タ：初めにタッセイに入社したきっかけを教えてください。

川：就職活動中に合同企業説明会でたまたま話を聞いたのがきっかけです。

「お施主様の夢を叶えるお手伝いが出来る仕事。」って言葉がすごく響いたんですよね。親父も賛成してくれたので入社を決めました。

タ：大阪の大学に通ってたんだっけ？関西での就職は考えなかったの？

川：地元に戻ることを前提に進学させてもらったので、就職は福井で、と決めていました。

今は両親と同居していないんですけど、週末たまに帰って親父とゴルフに行ったりしています。

タ：親子でゴルフ！いいですね～。ゴルフはいつからするようになったんですか？

川：高校生のときにゴルフ部に入部して、それからですね。

体育会系の部活には入りたいけど運動が得意なわけでもなくて、どうしようかと思っているときにゴルフ部を見つけました。

タ：ゴルフ部って結構お金かかるイメージだけど…

川：最初は初心者セットみたいなものを使っていましたね。

練習はほぼ打ちっぱなしで、学割がきいて週に1,000円くらい。

土日はコースに出て、目土をする代わりに安くしてもらって。

まあでもなんだかんだお金はかかるかもしれないですね…。

親も趣味でゴルフをするので、その点理解してもらえたのは大きかったと思います。

タ：社会人になっても役に立つし、年齢とか関係なく出来るっていいよね～。

では最後に、今後の抱負をお願いします！

川：余裕を持って仕事をしたいですね。体制も変わってきて以前よりはよくなっただけど、

まだ受け身の営業になっているところもあるので、もっと余裕を持って、お客様のためになる提案に磨きをかけたいです。プライベートでは、親父が元気なうちに子どもと三世代でゴルフに行けたら幸せです！

川邊さん、ありがとうございました！

次回は営業企画室 岩佐奈津子さん、出てくれるかな？



営業企画室 松山 Presents

おトクな！? 最新情報を届け

お役立ち information

みなさん、こんにちは！体重増加注意報発令中の松山です。毎日腹筋50回！

さて、今回のお役立ち information は「窓の性能で室温が変わる！」をテーマにお届けします。9月末にYKK AP品川ショールームを訪問し、改めて窓の重要性を肌で感じてきました。YKK AP品川ショールームはプロユーチャー向けに様々な商品展示や検証実験データの展示、さらには未来の窓や玄関ドアのプロトタイプまで盛りだくさんの施設です。

中でも窓の性能の違いを一番体感できるコーナーが、「断熱効果の体感 ROOM」です。外気温1°Cという北陸地方の真冬ほどの環境を再現し、昭和55年基準・平成28年基準・YKK AP推奨レベル2パターン・前沢パッシブハウスレベルと全部で5つの断熱性能の部屋で、エアコンを22°Cに設定した居室と無暖房の非居室を再現しています。



5つの部屋の展示ブース



昭和55年基準や平成28年基準レベルの部屋は暖房している居室でも肌寒く感じ、無暖房の居室は冷蔵庫の中にいるようでした。

特に窓の性能の違いを感じる部屋がYKK AP推奨レベル①と②の部屋でした。

全て同じ断熱材を使用した部屋ですが、2つの部屋の違いは

- YKK AP推奨レベル①は窓がアルミ樹脂複合LOW-Eペアガラス部屋のUA値は0.56
- YKK AP推奨レベル②は窓が樹脂製LOW-Eペアガラスガス入り部屋のUA値は0.51

窓の性能が違うだけで暖房している部屋の室温にはあまり差がありませんが、無暖房の部屋では明らかに3~4°Cほど温度差があり、原因は窓枠の温度差でした。樹脂製とアルミ樹脂製では枠の表面温度で5°C以上の温度差があり、実際に体験したことでは住宅の省エネ化は設備機器ではなく、断熱材はもちろんやはり「窓」で変わると確信しました。

YKK AP品川ショールームまでは少し遠いですが、みなさまも是非一度ご体感を！

事前に予約が必要ですので、詳しくは弊社担当営業までお気軽にお問合せください。

それでは今回のお役立ち information はこれにて終了。また次回お楽しみに♪